

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
保育実習指導Ⅱ Guidance and Evaluation Child Care PracticumⅡ		2年	前期	水曜日・2時限
単位数	授業の形態		授業の性格	
1単位	演習	選択 (保育士養成課程選択必修)		
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
保育士養成課程必修科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
保育士養成課程科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
高橋登美子	講義棟3階	火・水・金 (授業時間除く)		授業中に指示します
授業の概要				
保育所における実習に向けた注意点や実習内容を認識しながら、各自が保育所保育指針に基づいた保育の実践を学び、保育所における保育士としての役割と職務内容を確認していく。また、実習において実践する部分実習や責任実習、乳幼児との関わりに着いて考え、それぞれが出向く実習施設に合った保育内容について研究し、力を出して臨める様実習準備をしていく。				
授業の到達目標				
①福祉施設としての保育所の役割と機能を理解することができるようにする。 ②社会的な立場である保育士としての基本的な態度を自覚し、責任ある行動に結びつけることができるようにする。 ③子どもにとって、保護者にとって必要な保育士の存在とは何かを考え、必要な知識と技術を学び適切な援助ができるようにする。				
授業の方法				
全体授業と、教材研究としての個人活動の演習を組み合わせ、それぞれが計画性を持って実習準備に向けて努力していくことで、与えられる授業ではない立案力の向上につなげ、実践力を養う。 学内における「キッズブラザさのたん」の実際の場を体験することで、子育て支援の実践と必要性を学ぶ。				
学習の成果				
①福祉施設としての保育所の役割と機能を理解することで、保育士の社会的な立場を認識することができる。 ②社会的な立場である保育士としての基本的な態度を自覚し、求められる保育士のあり方に向けた責任ある態度と行動の責務について考え実習に臨むことができる。 ③子育て支援活動を体験することで、保護者に対する指導義務という保育士の責務について考えられることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス (シラバスの説明、授業内容、欠席時対応、子育て支援活動への参加について、補講について)			
第2回目	実習先決定～各自が実習施設に合わせた実習計画を立てる。			
第3回目	子育て支援活動での部分実習についてグループごとに話し合い準備を始める			
第4回目	保育所の社会的役割と機能について調べる～レポート提出 (提出に関しては、授業内で指示)			
第5回目	お花紙を使った創作活動～作品提出			
第6回目	保育士の職務内容と求められる保育士のあり方について考える～レポート提出 (提出に関しては、授業内で指示)			

第7回目	実習に臨むにあたっての教材研究～製作物		
第8回目	実習に臨むに当たっての教材研究～音楽表現		
第9回目	実習に臨むにあたっての教材研究～夏の保育		
第10回目	実習に臨むにあたっての教材研究～雨天の保育		
第11回目	素話について知る～レポート提出 (提出に関しては、授業内で指示)		
第12回目	実習日誌の扱い方と実習持参書類の準備・確認		
第13回目	実習に向けての課題確認		
第14回目	実習園でのオリエンテーション確認		
第15回目	起業保育園における職業体験DVDの観賞～保育士としての責務を再確認する		
成績評価の方法と基準			
評価の領域		割合	評価の基準
授業参加態度		30%	保育者としてふさわしい態度や行動とは何かを考えて活動している。言葉遣いにも配慮ができています。
レポート		30%	課題レポートひとつの配点が10点で、3種の課題に取り組む。指示されたレポート内容であることと提出期限を厳守すること。
調査報告書		10%	「キッズブラザさのたん」での参加報告書の提出。
小テスト			
中間・学期末試験			
発表内容 (態度含む)		20%	教材研究の準備や内容が授業内の説明に沿って適切であること。
その他		10%	実習に臨んでの提出とその内容、計画性を持って実習準備に取り組んでいたかを確認し評価する。
教科書と参考図書			
授業内にて適時示す。 学内図書館の図書や保育雑誌に多く触れ、保育技術を高めていただきたい。			
履修上の心得・ルール			
保育実習に臨む姿勢を大切に考えた活動力を求める。 状況によっては、実習を延期することもある。			